

2004年11月5日

中国における住宅事業への参入について ～中国の住宅施工会社2社に資本参加～

住友林業株式会社（社長：矢野 龍、本社：東京都千代田区丸の内1丁目8番1号 以下 住友林業）はこのほど、中国における木造住宅事業への本格参入を図る目的で、木製トラスの製造販売および2X4工法の住宅施工を行っている、アメリカの独資会社「派爾剛聯合木製品（大連）有限公司 [英文社名：Paragon Wood Product (Dalian) Co., Ltd.、社長：王 志強、以下 パラゴン（大連）社]」ならびに「派爾剛聯合木製品（上海）有限公司 [英文社名：Paragon Wood Product (Shanghai) Co., Ltd.、社長：王 志強、以下 パラゴン（上海）社]」にそれぞれ資本参加することを決定しました。住友林業では11月をめどに両社の持分を各30%取得します。なお、持分の取得は、住友林業の100%出資の米国現地法人Sumitomo Forestry Seattle, Inc. を通じて行われます。

中国政府は住宅市場の育成を経済政策の中核として位置付けており、市場価格で取引される「商品住宅」※は、1996年の販売面積約1.4億平方メートルが2003年には約4.0億平方メートルへと、その市場は著しく成長しています。中国の住宅はレンガ造やコンクリート造が主流ですが、一方で中国政府は、住宅産業化政策を進め、新技術や新工法の導入にも前向きであり、本年1月木造住宅についても「木結構設計規範（Code for design of timber structures）」が施行され、公に認知された工法となりました。

住友林業としては、木造住宅の本格普及に向けた環境が整いつつあると判断し、今回の参入に至ったものです。

※「商品住宅」とは、市場価格で取引される住宅を意味し、商用ビルや政府補助付住宅等を除く。

持分を取得するパラゴン（大連）社は、中国東北部の大連市で2000年に設立、パラゴン（上海）社は上海市で本年設立された会社であり、いずれも2X4の戸建住宅やタウンハウスの施工を主要事業としております。

住友林業は「海外事業」を重点事業のひとつと位置付け、環太平洋エリアを中心とした木材建材事業、住宅事業展開に取り組んでいますが、今回の事業参入は中国市場における建材流通事業の進出も視野に入れた積極的な展開への足がかりとし、グローバルマーケットにおけるブランド力の一層の強化と積極的な業容拡大を図ってまいります。

<パラゴン（大連）社の概要>

設立： 2000年3月24日
法定代表者：金 海娜
社長：王 志強
所在地：大連保税区国際物流園3#工場B区
企業類型：外商独資経営企業
事業内容：木製構造家屋・トラスの生産、加工、組立
建築資質：特殊行程專業請負
売上高：11,780,150元（2003年12月末）
資本金：USD797,208
持分：Zee America Inc.（100%）

<パラゴン（上海）社の概要>

設立： 2004年2月26日
法定代表者：金 海娜
社長：王 志強
所在地：上海市普陀区古浪路415弄2号1階、5号1階

企業類型 : 外商独資経営企業
事業内容 : 木製構造家屋・トラスの生産、加工、販売
売上高 : 本年設立の為昨年実績は無
資本金 : USドル380,000
持分 : Zee America Inc. (100%)

以上

<お問い合わせ先>

住友林業株式会社
コーポレート・コミュニケーション室
佐野

TEL 03-3214-2270